

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2026年8月6日

上場会社名 株式会社SANKYO 上場取引所 東
 コード番号 6417 URL <https://www.sankyo-fever.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 敏男
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員管理本部長 (氏名) 赤石 昌大 TEL 03-5778-7777(代)
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	33,571	△39.2	10,496	△56.0	11,108	△54.5	8,074	△53.7
2026年3月期第1四半期	55,185	30.7	23,851	38.1	24,391	38.8	17,447	39.5

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 7,926百万円(△54.5%) 2026年3月期第1四半期 17,431百万円(40.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	40.88	40.34
2026年3月期第1四半期	80.36	79.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	287,611	249,137	86.1
2026年3月期	287,458	250,155	86.5

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 247,659百万円 2026年3月期 248,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	174,000	△2.9	56,000	△10.4	58,000	△9.4	40,000	△14.4	202.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループは事業計画を年次で管理しており、通期での開示のみとしております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	230,000,000株	2026年3月期	230,000,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	32,486,271株	2026年3月期	32,486,271株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	197,513,729株	2026年3月期1Q	217,122,696株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式 (2027年3月期1Q 1,247,500株、2026年3月期 1,247,500株) が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式 (2027年3月期1Q 1,247,500株、2026年3月期1Q 1,318,005株) が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当パチンコ・パチスロ業界におきましては、稼働が堅調に推移し、パラーの購買需要が安定しているパチスロ市場とは対照的に、パチンコ市場は、低調な稼働を背景に、パラーの新台幣選定姿勢が一段と慎重化しており、総販売台数は前年同期を下回りました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間において、当社グループではパチンコ機の価格見直しによるパラーの新台幣導入負担の軽減を通じて、パチンコ市場の活性化を図ることを目的に、新価格方針「SANKYO エールプライス」を導入しております。パチンコ機関連事業におきましては、同施策対象2タイトルを含む、新規3タイトルを投入したほか、稼働が好調に推移する2タイトルの増産対応を行いました。また、昨年4月の導入から1年以上経過した現在でも、絶大な支持を得ている「e 東京喰種」の新スペック「e 東京喰種 超デカ 超一撃 ver.」を6月に販売し、高い人気を獲得しております。一方、パチスロ機関連事業におきましては、新規1タイトルに加え、好調な稼働を維持する1タイトルの増産対応を行い、両事業ともに、通期計画に対して順調なスタートとなりました。

以上の結果、売上高335億円（前年同四半期比39.2%減）、営業利益104億円（同56.0%減）、経常利益111億円（同54.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益80億円（同53.7%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、売上高221億円（前年同四半期比39.5%減）、営業利益90億円（同48.9%減）、販売台数50千台（前年同四半期は79千台）となりました。

新規販売タイトルは、SANKYOブランドの「e フィーバーキン肉マン」（2026年4月）、「フィーバークイーンⅡ」（2026年5月）、「e フィーバー デッドマウント・デスプレイ 魂神9000」（2026年6月）の3タイトルであります。

(パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、売上高82億円（前年同四半期比45.0%減）、営業利益29億円（同61.7%減）、販売台数16千台（前年同四半期は35千台）となりました。

新規販売タイトルは、B i s t yブランドの「Lパチスロ 機動戦士ガンダムユニコーン 覚醒DRIVE」（2026年4月）1タイトルであります。好調な稼働実績を残しているSANKYOブランドの「Lパチスロ 炎炎ノ消防隊 2」の増産を行いました。

(補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高29億円（前年同四半期比10.3%減）、営業利益1億円（同25.0%減）となりました。

(その他)

その他につきましては、売上高1億円（前年同四半期比6.9%増）、営業利益30百万円（同3.6%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は2,876億円であり、前連結会計年度末と比べ1億円増加しました。これは主に、現金及び預金が197億円減少となりましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が106億円、有償支給未収入金（流動資産「その他」に含む）が58億円、原材料及び貯蔵品が18億円、商品及び製品が15億円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は384億円であり、前連結会計年度末と比べ11億円増加しました。これは主に、未払法人税等が65億円減少となりましたが、支払手形及び買掛金が55億円、有償支給取引に係る負債（流動負債「その他」に含む）が15億円、賞与引当金が5億円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ10億円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益80億円を計上した一方、配当金の支払い89億円を計上したことによるものであります。この結果、純資産は2,491億円となり、自己資本比率は0.4ポイント減少し、86.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありませんが、配当の状況につきましては、2026年5月13日に公表いたしました配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2026年8月6日）別途開示しております「配当方針の変更（配当性向の引き上げ、DOE導入）及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	132,463	112,673
受取手形、売掛金及び契約資産	4,832	15,491
電子記録債権	7,152	6,344
有価証券	59,976	59,972
商品及び製品	1,518	3,063
仕掛品	230	117
原材料及び貯蔵品	13,804	15,656
その他	9,987	16,587
貸倒引当金	△8	△15
流動資産合計	229,956	229,892
固定資産		
有形固定資産	41,283	41,162
無形固定資産		
その他	364	355
無形固定資産合計	364	355
投資その他の資産		
投資有価証券	6,351	6,728
その他	9,578	9,548
貸倒引当金	△76	△75
投資その他の資産合計	15,852	16,201
固定資産合計	57,501	57,719
資産合計	287,458	287,611
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,769	13,367
未払法人税等	9,613	3,017
賞与引当金	903	1,434
株主優待引当金	144	144
その他	9,387	10,968
流動負債合計	27,817	28,931
固定負債		
株式給付引当金	1,177	1,177
退職給付に係る負債	4,550	4,571
資産除去債務	63	63
その他	3,693	3,729
固定負債合計	9,484	9,542
負債合計	37,302	38,473

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,750	23,750
利益剰余金	262,639	261,769
自己株式	△55,795	△55,795
株主資本合計	245,434	244,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,902	2,774
退職給付に係る調整累計額	340	321
その他の包括利益累計額合計	3,243	3,095
新株予約権	1,478	1,478
純資産合計	250,155	249,137
負債純資産合計	287,458	287,611

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	55,185	33,571
売上原価	21,289	13,297
売上総利益	33,896	20,274
販売費及び一般管理費	10,044	9,777
営業利益	23,851	10,496
営業外収益		
受取利息	100	135
受取配当金	259	312
その他	182	164
営業外収益合計	541	612
営業外費用		
投資事業組合運用損	1	-
その他	0	0
営業外費用合計	2	0
経常利益	24,391	11,108
税金等調整前四半期純利益	24,391	11,108
法人税、住民税及び事業税	6,454	2,870
法人税等調整額	489	163
法人税等合計	6,943	3,033
四半期純利益	17,447	8,074
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,447	8,074

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	17,447	8,074
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	△128
退職給付に係る調整額	3	△19
その他の包括利益合計	△16	△147
四半期包括利益	17,431	7,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,431	7,926
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	543百万円	739百万円

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	36,712	15,037	3,337	55,088	97	55,185	—	55,185
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	36,712	15,037	3,337	55,088	97	55,185	—	55,185
セグメント利益	17,644	7,686	233	25,564	29	25,594	△1,742	23,851

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	22,197	8,274	2,995	33,467	104	33,571	—	33,571
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	22,197	8,274	2,995	33,467	104	33,571	—	33,571
セグメント利益	9,022	2,943	175	12,141	30	12,172	△1,676	10,496

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。